

## 目 次

図 1	「とほほの WWW 入門」 解説ページの例	p2
図 2-1,2-2	CSS 解説型のサイト	p2,3
図 3	CSS 紹介型のサイト	p4
図 4	図 3 のサイトで紹介されているリンクに移動した先 (海外のサイト)	p5
図 5	解説ページの例	p6
図 6	練習問題ページの例	p7
図 7	サイトレイアウト (frame による表示)	p8
図 8	練習問題ページのソースの有無	p8
図 9	3 段組みレイアウトの XHTML ファイル作成例	p9
図 10	Safari で表示した場合	p9
図 11	Firefox で表示した場合	p10
図 12	タブナビゲーションの XHTML ファイル作成例	p11
図 13	解説記述例 (赤字を使った例)	p11
図 14	参考リンク	p12
図 15	別ウィンドウによる表示例	p12
図 16	雛型のページ	p13
図 17	CSS 外部ファイルについて	p14
図 18	項目「初めに…」の図 (改良前)	p14
図 19	項目「初めに…」の図 (改良前)	p15
図 20	最終的なレイアウト図	p15

# 図 1

## ■ ビジュアル

### ◆ **display:** *display* (C1/e5/N4)

画面にどのように表示されるかを **block** (ブロック要素)、**inline** (インライン要素)、**list-item** (リスト要素)、**none** (表示しない) のいずれかで指定します。CSS2 からは **marker**、**run-in**、**compact**、および、**table**、**inline-table**、**table-row-group**、**table-column**、**table-column-group**、**table-header-group**、**table-footer-group**、**table-row**、**table-cell**、**table-caption** が追加されていますが、まだあまりサポートされていないようです。

```
.hide { display: none; }
```

### ◆ **position:** *type* (C2/e4/N4)

ポジショニングの方法を、**static** (既定値: 本来の位置)、**relative** (本来の位置からの相対位置指定)、**absolute** (絶対位置指定)、**fixed** (絶対位置に固定)、**inherit** (継承) のいずれかで指定します。**fixed** は画面のスクロールに対して固定されます。Netscape 6.0 ではサポートされていますが、IE6.0 ではまだサポートされていません。

```
<span style="position:absolute; top:100px; left:100px;">  
  
</span>
```

# 図 2-1

The screenshot shows a web browser window displaying a blog page. On the left, there is a navigation menu with links for 'ホーム', 'はじめての方へ', 'お問い合わせ', 'ARCHIVE', 'CATEGORY', and 'RECENT ENTRIES'. The main content area features a header for 'basha-log.biz' and a post titled '[使えるCSSテクニックVol.2] CSSで実現するエラスティックレイアウト' by user 'ishida'. The post content discusses CSS layout techniques, specifically 'fixed' and 'flexible' layouts. On the right side, there is a search bar and a list of '人気エントリー' (Popular Entries) with their respective user counts. The browser's address bar shows 'Hatena::Bookmark' and a list of bookmarked sites including 'CSS-EBLOG' and 'THE HAM MEDIA'.

## 図 2-2

RECENT ENTRIES

- PowerPoint2007でwebワイヤーフレームを作成する
- 馬車道ランチ [80'80]
- twitter で話題になっているエントリを調べる時便利な「BackTweets」
- 明けましておめでとうございます。シーブレインからの年賀状をお届けします！
- 2009年バシャログ。人気エントリーまとめ

RECENT COMMENTS

- なまた on Pageantと「ファイル名を指定して実行」で快適SSH  
stenps:同字源 nimius:ニミウス  
Fonts:フ
- なまた on Pageantと「ファイル名を指定して実行」で快適SSH  
stenps:同字源 nimius:ニミウス  
Fonts:フ
- kimoto on [EC-CUBE カスタマイズ日誌] 第 9 回 商品の詳細ページに在庫状況のテーブルを表示したい！  
> monk さん コメントありがとうございます。記述す
- monk on [EC-CUBE カスタマイズ日誌] 第 9 回 商品の詳細ページに在庫状況のテーブルを表示したい！  
getClassCategoryStock これはどこに記
- toyama on 重いFirefoxをなんとかして速くしたい  
> もと東大生もと社長もとくん コメントありがとうございます

### エラスティックレイアウトについて

エラスティック【elastic】には、ゴムひも・しなやかな・伸び縮みするという意味があります。

ここで言うエラスティックは「伸び縮みする」という表現が一番近く、文字サイズの変更によってレイアウト幅が可変するものをエラスティックレイアウトと言います。

### エラスティックレイアウトを採用している主なサイト

エラスティックレイアウトを採用しているサイトには以下のようなものがあります。

- \* [Yahoo!JAPANトップページ](#)
- \* [みずほ証券](#)

### エラスティックレイアウトのCSS

#### エラスティックレイアウトのサンプルはこちら

CSS は以下の通りです（重要な箇所だけ抜粋）。

```
div#container {  
    max-width: 20em;  
}  
  
div#container p img {  
    max-width: 20em;  
}
```

エラスティックレイアウト場合、サイズの指定にemを利用するのが一般的です。max-widthプロパティに表示したい文字数分をemの単位で設定します。

また画像についても CSSで設定することで、エラスティックに対応することができます。

max-widthおよびmin-widthプロパティですが、最近のモダンブラウザはほとんどサポートしていますが、IE6では未対応のためIE6で実現するためには別途CSSハックでの処理やライブラリを使用するのmax-width設定が必要となりますのでご注意ください。

今回は、「CSSを使った見栄えの良い見出し」です。お楽しみに！



## CSSでテキストシャドウを実現できるらしい



10 resources to get the most out of the CSS text-shadow property

メモ

Ads by Google

**OpenGL ES プログラミング** - [www.dmpof.com](http://www.dmpof.com)

KhronosGroup公認トレーニングコース定期的に開催中。お申込みはこちら

**基本情報技術者試験対策** - [www.nextet.net](http://www.nextet.net)

試験対策のプロが合格のための問題をセレクト、直前模擬試験も実施中

**テキスト読み上げなら** - [voice.pentax.jp](http://voice.pentax.jp)

自然な発音、多言語対応、マルチスレッド対応を実現したボイステキスト

www/design Comments (0) Track back(0) 2009.12.15

◀ TV反応twitter | HOME | HTML で指定されたパラメータを ActionScript で使うには ▶ | 記事編集

ABOUT ADVERTISE ARCHIVES CONTACT CONTRIBUTE RSS FEED SUBSCRIBE BY EMAIL



# cats who code

Keyword

 Web-based **email marketing system**  
that all business owners fall in love with

 **Top 25 Web Hosts** [TOPHOSTS.COM](#)   
The Complete Web Hosting Resource Since 1997

Get the most  
out of the  
text-shadow  
CSS property

Posted by [Jean-Baptiste Jung](#) on Dec 5, 2009 | [24 comments](#)

## 10 resources to get the most out of the CSS text-shadow property

The CSS text-shadow property is very popular among web designers and front-end developers. In this article, let's take a look at 10 resources to get the most out of the text-shadow CSS property.

**6418 readers** **Click**  
BY FEEDBURNER

**1-2-ALL**  
E-Mail Marketing Software  
[try it for free](#)

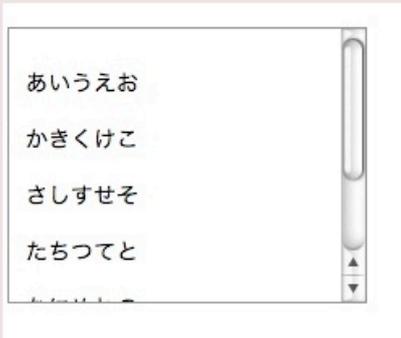
  
**CMS WP Themes**  
*for Professionals*

## 図 5

### インラインフレーム

ページ内の好きな場所に指定したサイズの窓を表示することが可能になります。

- 1) 枠線の幅、種類、色などを指定する。
- 2) フレームの高さ、幅を指定する。
- 3) paddingの設定をする。
- 4) **overflow**: を **auto**; にする。  
「auto」にしておくで、内容がはみ出るようであれば、自動的にスクロールバーを付加します。



#### CSS記述例

```
#logbox {  
border: solid 1px #808080;  
width: 200px;  
height: 150px;  
padding: 10px;  
overflow: auto;  
}
```

→→→練習問題

図 6

## インラインフレーム 練習

次のインラインフレームを作る。

幅...300px

高さ...100px

### ↓作品見本↓



図 7

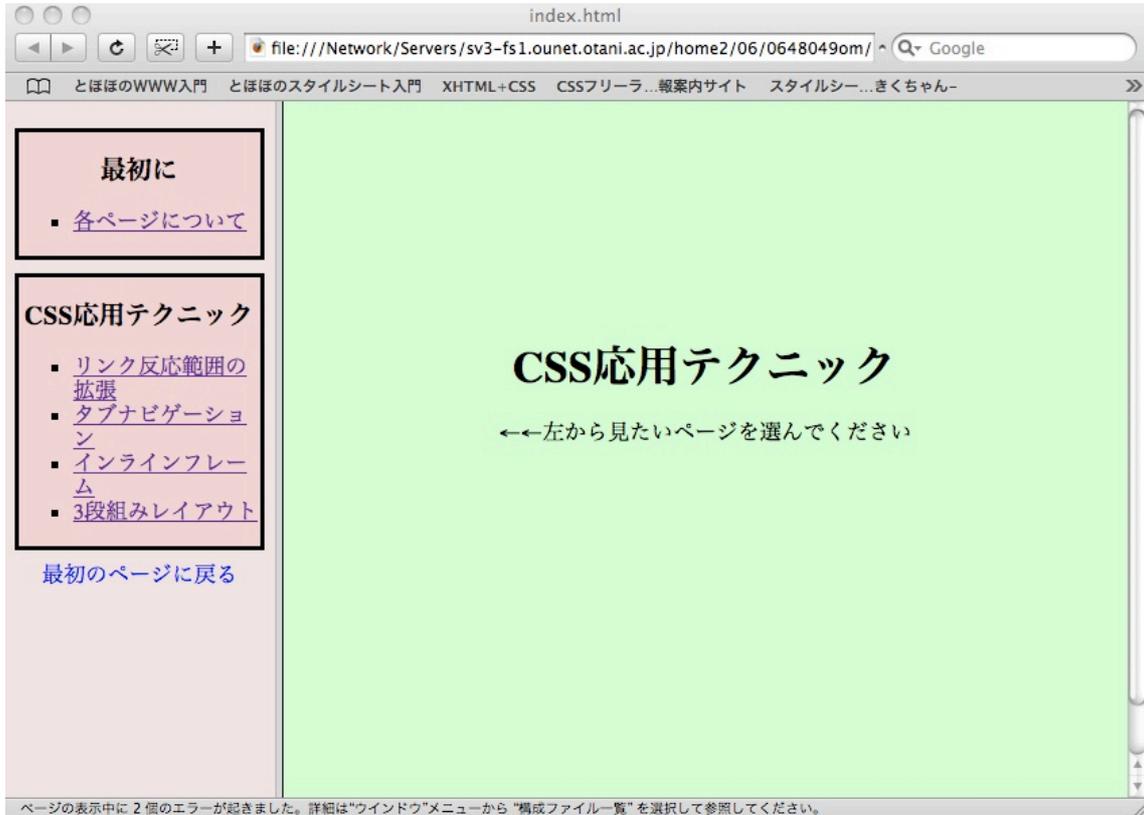


図 8

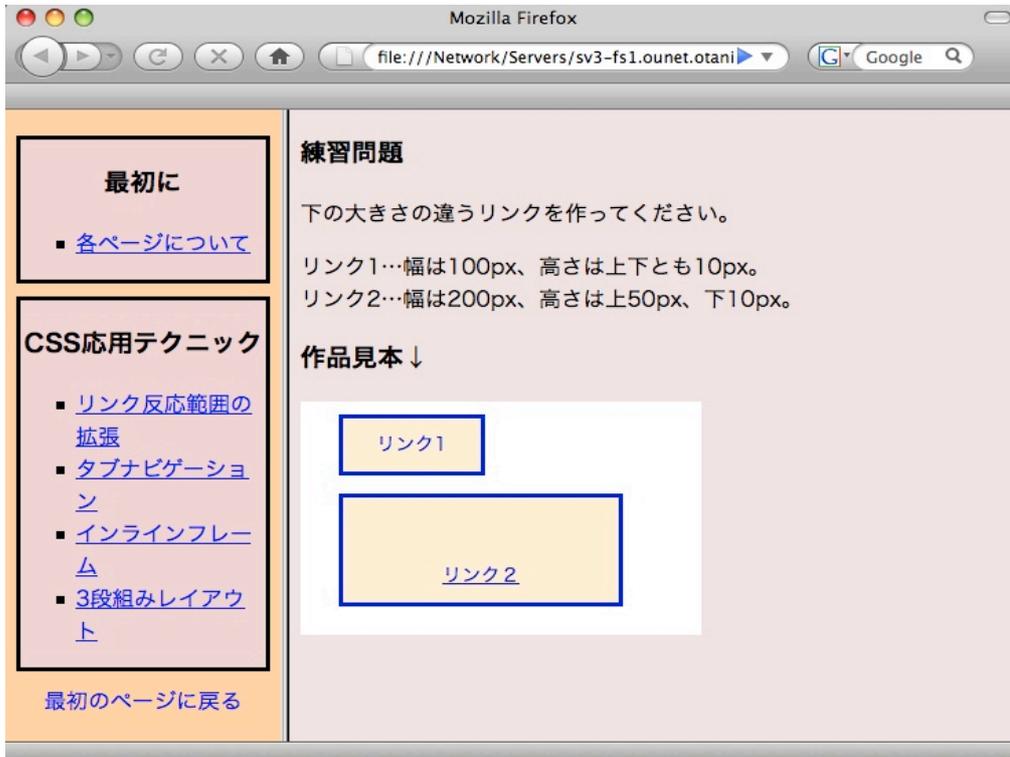


図 9

```
<div id="left">
<h3>左 サイドバー</h3>
<ul>
<li>1 </li>
<li>2 </li>
<li>3 </li>
</ul>
</div>

<div id="main">
<h3>メイン</h3>
<p>メインの記事…</p>
</div>

<div id="right">
<h3>右 サイドバー</h3>
<ul>
<li>リンク</li>
<li>リンク 2 </li>
<li>リンク 3 </li>
</ul>
</div>
</div>
</p>
```

図 10

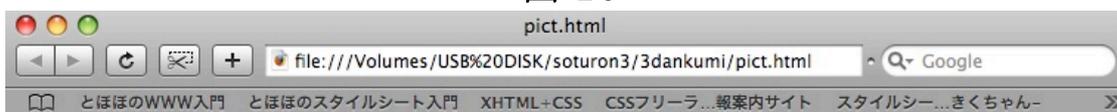


図 11



図 12

```

10 <←
11 <link rel="stylesheet" href="tabnavi_rensyu.css" type="text/css" media="s
12 </head>←
13 <body>←
14 <h3>練習問題</h3>←
15 ←
16 下のタブナビゲーションを作ってみる←
17 ←
18 <div id="kaietu">←
19 リストボックス<br/>←
20 高さ→26px<br/>←
21 幅→100px<br/>←
22 背景色→#ff3333<br/>←
23 <p>←
24 内容ボックス<br/>←
25 高さ→100px<br/>←
26 幅→500px<br/>←
27 <p>←
28 それぞれのページの「on」「off」の設定を変えて、リンクをつなげる。←
29 </div>←
30 <p>←
31 <p>←
32 <h3>↓作品見本↓</h3>←
33 <div class="box1">←
34 <ul>←
35 <li class="on"><a href="tabnavi_rensyu1.html">メニュー1</a></li>←
36 <li class="off"><a href="tabnavi_rensyu2.html">メニュー2</a></li>←
37 <li class="off"><a href="tabnavi_rensyu3.html">メニュー3</a></li>←
38 </ul>←
39 </div>←
40 ←
41 <div class="box2">←
42 ここに文章を書けます←
43 </div>←
44 ←
45 </body>←
46 </html>←
47 ←

```

図 13

しかし、

```
a {
display: block;
```

を入れることによって、枠内すべてが反応するようになります。  
(カーソルを枠内に移動させると背景の色が変わります。)

(例)

かきくけこ

図 14

**参考リンク**

- [とほほのWWW入門](#)
- [一緒に学ぼう！XHTML+CSS](#)

図 15

The screenshot shows a web browser window displaying a website titled "とほほのWWW入門" (Tohohoh WWW Introduction). The page features a navigation menu on the left with links for [HOME], [アレイム版], ダウンロード, Q & Aの広場, ウェブリンク, and URLの広場. A search bar is present at the top. The main content area is divided into several sections: "スタート" (Start), "ご使用上の注意" (Usage Notes), "管理者へのメール" (Email to Admin), "基本編" (Basic Edition), and "応用編" (Advanced Edition). The "基本編" section lists various topics such as 用語集 (Glossary), ホームページ入門 (Home Page Introduction), 流し書きアプレックス (Flow Writing Apress), HTMLリファレンス (HTML Reference), HTMLサポート状況 (HTML Support Status), 色入門・色見本 (Color Introduction/Color Samples), 画像(GIF/JPEG) (Images), マルチメディア入門 (Multimedia Introduction), JavaScript (JavaScript), ダイナミックHTML (Dynamic HTML), and スタイルシート(CSS) (Style Sheet/CSS). The "応用編" section lists カウンター設置 (Counter Installation) and 掲示板設置 (Bulletin Board Installation). A sidebar on the right contains a "参考リンク" (Reference Links) section with the same two links as in Figure 14: "とほほのWWW入門" and "一緒に学ぼう！XHTML+CSS". Below the sidebar, there is a link to "最初のページに戻る" (Return to the first page). The main content area also features a section titled "CSS応用テクニック" (CSS Application Techniques) with a sub-header "CSS応用テクニック" and a paragraph of text: "←←最初に「初めに…」を読んでから始めてください。その後、左から見たいページを選んでください。"

図 16

## XHTML、CSSファイルの雛形

### XHTMLファイル

XHTMLとCSSのファイルを作成する場合の基本となる形（雛形）です。  
ファイルを作成する時に、参考にしてください。

#### ↓XHTMLファイルの記述例↓

```
名称未設定 2.txt
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1-strict.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=●●●">
<title>●●●</title>
<link rel="stylesheet" href="●●●.css" type="text/css" media="screen,print" >
</head>
<body>

    ～～内容を記述する～～

</body>
</html>
```

図 17

### CSSファイル

外部CSSファイルを作成する場合は、`@ charset "文字コード";`をCSSファイルページの1行目に記述してください。

これは、文字化けを防止するために必要なもので、XHTMLとCSSのファイルを別に作成する場合は指定するようにしてください。

文字コードはXHTMLファイルで記述した文字コードと同じものを使ってください。

- Sift JISの場合 → `charset=shift_jis`
- EUC// → `charset=euc-jp`
- JIS// → `charset=iso-2022-jp`
- UTF-8// → `charset=UTF-8`

↓ CSSファイルの文頭 (UTF-8の例) ↓



XHTMLの文字コード指定の場所は、下の画像の赤い楕円のところです。



```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1-strict.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=●●●">
<title>●●●</title>
<link rel="stylesheet" href="●●●.css" type="text/css" media="screen,print" >
</head>
<body>

  ～～内容を記述する～～

</body>
</html>
```

図 18

## 始める前に…

このオンライン教材は、「CSSを今までに経験したことがある人」を対象にしています。今までCSSを経験したことが無い人・忘れている人は、基礎を勉強してからこの教材を使う事を推奨します。

図 19

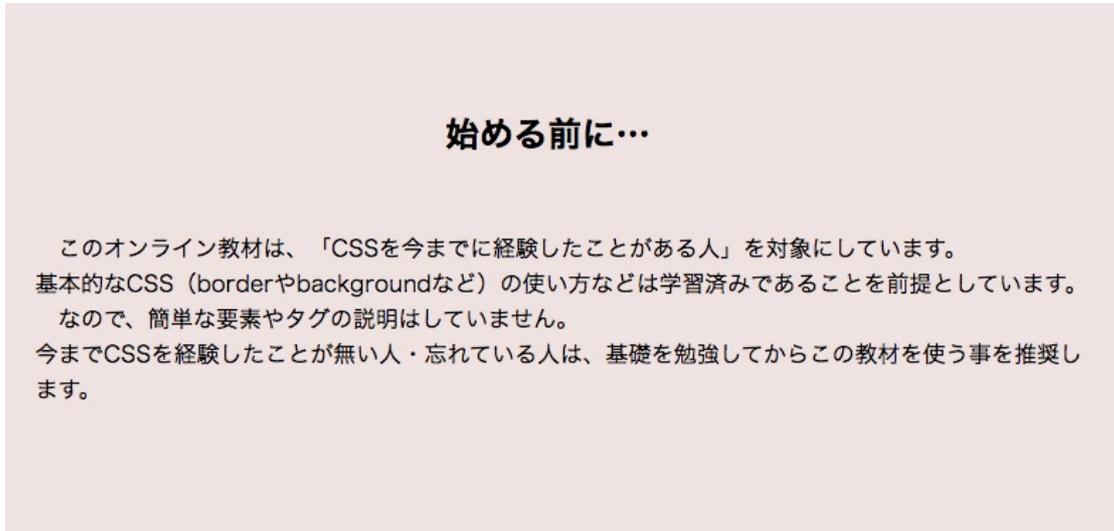


図 20

